

熊本大学学術リポジトリ

Kumamoto University Repository System

Title	薬物の血液透析による除去特性に関する研究
Author(s)	浦田, 元樹
Citation	
Issue date	2018-03-25
Type	Thesis or Dissertation
URL	http://hdl.handle.net/2298/40103
Right	

浦田 元樹 論文審査の要旨

論文題目 薬物の血液透析による除去特性に関する研究

審査内容

浦田元樹氏は、病院薬剤師として従事する臨床現場において、臨床的課題を見出し、それらを解決するための基礎・臨床研究を展開し、血液透析患者における医薬品適正使用・薬物投与設計に貢献する貴重な研究成果を見出した。具体的には、1) 既存情報が少ない高用量レボフロキサシン経口投与時の日本人血液透析患者における体内動態特性を明らかにし、本剤の至適投与法を確立した。2) 独自開発の小型簡易透析器を用いて、アルベカシンの AN69 透析膜への吸着特性を明らかにし、ヒトへの外挿が可能なことを示した。3) 医薬品インタビューフォームや各種文献情報から得た薬物動態パラメータなどを用いて、薬物の透析除去率の簡易予測式を構築した。

これらの研究は、臨床への応用を標榜した取組であり、臨床薬学的観点から血液透析患者における医薬品適正使用や薬物投与の最適化に必須は情報を提供するものであり、学位の授与に十分に値すると評価した。

審査委員 薬剤情報分析学分野 教授 入江 徹美



審査委員 薬剂学分野 准教授 渡邊 博志



審査委員 臨床薬物動態学分野 准教授 城野 博史

